

# ルワンダ・モデルビレッジ事業 —災害や貧困に負けない村づくり—

## 社会課題



ルワンダは1990年代の内戦が終結して以降、急速な経済発展を遂げており、「アフリカの奇跡」と呼ばれています。一方で、人口の8割が暮らす農村部では、貧困、安全な水やトイレの不足、感染症、そして気候変動の影響による自然災害など、複合的な社会課題に直面しています。7割以上の家庭が一日一食しかとれず、子どもたちの栄養不足が深刻化しています。

## 赤十字の解決策

地域全体のレジリエンスを強化し、社会課題の解決を目指します

- ◆対象は？→ 気候変動の影響による自然災害や貧困などに直面する人々
- ◆体制は？→ 日赤現地代表部を設置し、実施主体であるルワンダ赤十字社を支援
- ◆実施方法は？→ 住民参加型の村落開発活動「モデルビレッジアプローチ」を活用
- ◆活動内容は？→ 保健・衛生・水・暮らしなど生活環境の向上を目指した総合的な支援



水・衛生

水汲みから解放し、衛生的なトイレを普及します

- ・給水設備の設置・維持管理
- ・世帯向けトイレの改装
- ・公共トイレの設置



環境・緑化

村の環境を評価し、自然災害に備えます

- ・地滑り対策、苗木の育成・植林
- ・バイオマス燃料の製造
- ・保温技術・器具の普及



生計支援

収入源を確保し、貧困を断ち切ります

- ・家畜の提供
- ・菜園の普及
- ・貯蓄融資制度の利用



保健・栄養

健康や防災への意識を高め、将来につなげます

- ・移動式映画館、ラジオ放送
- ・栄養指導、料理教室
- ・ボランティア育成、支部強化

目標額：3,000万円

【SDGsとの関係性】



## 事業最終年の2024年度、村の課題の解決に向けて、コミュニティ活動を拡大・継続中

- 2024年4月、待ちに待った給水設備が村に完成し、女性と子どもの水汲みの時間が大きく短縮されました。
- 村の集会で、手洗いの奨励、感染症予防、栄養、防災対策など、人びとの生活を改善するための知識の普及を実施。感染症対策では、ワクチンの効果について取り上げ、積極的なワクチン接種を奨励し、行動変容へ結びつけました。
- 学校へ行くことの大切さを小学生に伝えたり、救急法の知識を習得し万が一に備えるなど、赤十字クラブの高校生は村の人びとの生活改善に大切な役目を果たしています。
- 生、ブタなどの家畜配布は、村人が飼養して市場で販売・家庭で消費するほか、生まれた子牛や子ブタは、同じ村で家畜を持たない他の家庭へ譲渡することで、村の共同体意識を高めることにも貢献しています。
- すべての世帯が、配布された野菜の種を蒔いて家庭菜園を作っています。乾季には水不足のため、家庭菜園の維持が難しくなります。

赤十字クラブの高校生が小学生たちへ、学校に行くことの大切さを伝えます。



ブタの配布を受けた村人と赤十字ボランティア。



村に完成した給水設備を運営・維持管理していくのは村人からなる水利委員会の役割です。



村人たちに保健衛生の知識を広め、意識と行動の変容を促します。



赤十字クラブの高校生に救急法の研修を受講。



家庭菜園で育てた野菜を収穫して栄養のある食事を作ることが可能に。

皆様のご寄付でできること 例えば・・

- ◆10万円 → 感染症予防のための啓発イベント5回
- ◆8万円 → 料理実習5回

### 支援特典(ご要望に応じて)

100万円以上のご支援で次の特典が提供可能です。

1. 支援成果を感じていただけるような報告書(ニュースレターや現地からのビデオレター等)をお届けします。
2. ご要望に応じて講演会・報告会(対面/リモート)を実施します。
3. 現地からの報告書や広報資材など、自由にご活用頂ける元素材を提供します。
4. 状況やご要望に応じて、事業地視察が可能です。 ※視察にかかる費用等はご負担ください。
5. 日赤の広報媒体などで賛同企業・団体として社名・団体名を掲載させていただきます